

吉澤惣太郎 四年四月二一〇〇〇  
 梅木藏次 一年五月一八九〇〇

午當支給基準 解雇午當十四日分勤續午當一ヶ月毎二日給  
 十日分 以上

警視第一二五二號

昭和五年四月十九日

警視總監 丸山鶴吉

1145

大臣 安達謙藏殿  
 社會局長官 吉田 友殿

金子電氣商會、勞働爭議ニ関スル件 (第二報)

要旨 (勞働者側也、從來負ニ対シ執拗ニ爭議參加ヲ進リタル結果于各々參加ヲ見レ至リ十音再  
 要求者ヲ提出スルニ事案側態度強硬ニシテ勞資ノ意見接近スルニ至ラズ)

標記爭議其ノ後、狀況左記ノ通  
 記

一 經過

被解雇者等ハ十三日午前九時頃工場ニ至リ給料ノ支拂ヲ受ク

レニ、トリトキ員シ也、是員等、付、申渡シ、力等、